

DLN 認定更新申請のための事例報告の課題

◆ 更新申請に必要な実践事例 4 例のまとめ方

HP に提示している「事例報告の書き方」を参照

I 看護実践の事例報告（2 事例）

例) 透析患者の体重管理への介入や、高齢に伴う通院困難などに対する援助など、実践した看護を事例報告としてまとめる。

II スタッフ教育の事例報告（個人を対象とした 1 事例）

例) 患者とコミュニケーションがとれない新人看護師への支援
例) 新人指導に参加しない中堅看護師への指導的関わりなど、部署におけるスタッフ育成に関わったあなたの経験を記載すること

III 施設における業務改善の事例報告(1 事例)

例) 災害時の対応マニュアル作成
例) 看護度調査への取り組み
例) 事故事例の検討会開催
業務改善、システム構築、安全管理など、特に、あなたが主体的に取り組んだことについて記載すること。
あるいは業務改善に関するあなたの考えを記載すること。

IV 社会的・教育的活動報告(箇条書きでよい)A4 サイズ 1 枚程度

慢性腎臓病（CKD）領域の看護に関連するあなたの活動について箇条書きで記述すること。
(活動が 1 つの場合も、1.~として記載する)

例 1) 各種学会・研究会・教育セミナー・研修会の運営・企画に関する活動

例 2) 各種学会・研究会・教育セミナー・研修会の講師、座長や演者（発表者）

学会・研修会などの講師、座長あるいは演題を発表した場合は、日時・学会（研究会）名・発表テーマなどを記載すること。抄録は不要。

例 3) 所属する部署や施設内外で学習会開催などの企画・運営に関する活動

例 4) 論文・著書発表

・論文・著書などの業績に関しては、日本腎不全看護学会誌投稿規定の「文献記載」に準じて記載すること。論文添付は不要。

課題 IV には、DLN 認定の期間 5 年間で 1 回以上日本腎不全看護学会学術集会において、筆頭者として発表（口演・ポスター・交流集会）をしていることが条件として含まれます。
日本腎不全看護学会学術集会で発表時のみ抄録コピーを添付すること。